

第3回関西六大学合唱演奏会

合同演奏

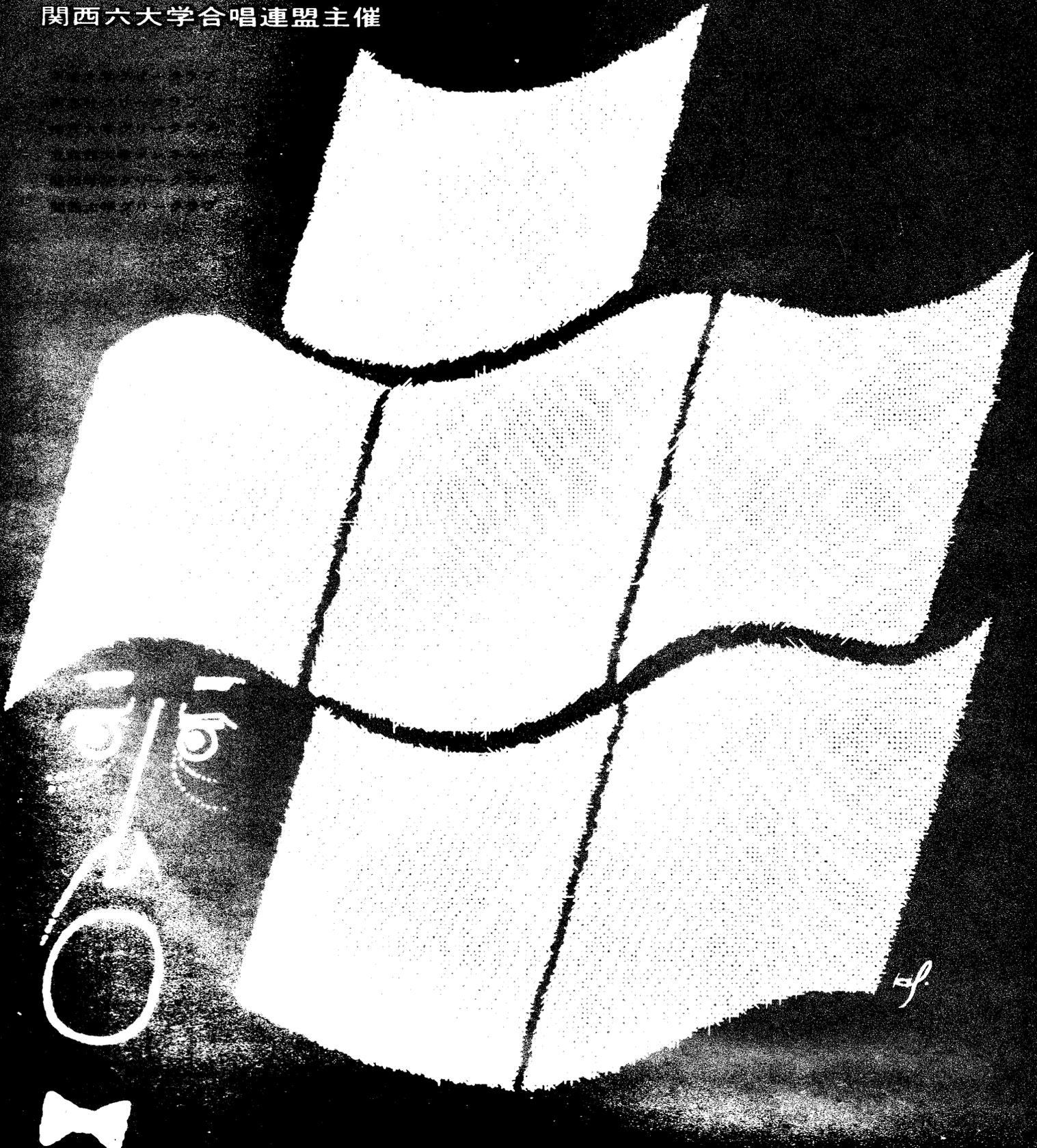
ニグロ・スピリチュアル

指揮：関屋 晋

大阪フェスティバルホール

1969・5・8(木) 6:30pm開演

関西六大学合唱連盟主催



第3回 関西六大学合唱演奏会

神戸大学グリークラブ
関西学院グリークラブ
立命館大学メンネル・コール
甲南大学グリークラブ
同志社グリークラブ
関西大学グリークラブ

1969年5月8日6:30P.M./大阪フェスティバルホール

「あいさつ」

今宵、このマニエールホールにおきまして、多数の御来場をいただき、第3回関西六大学合唱演奏会を開催することが出来ましたことは、私達連盟一同大きな喜びと誇りを感じ、誠にありがとうございます。また、同様に音楽を愛する六つの男声合唱団が寄り集ってお互いの技術の向上と親睦を計るために結成されたのが私達関西六大学合唱連盟でした。

過去数年というものは、私達はただ、連盟の形成と内部充実に全力を注いでまいりましたが、それも分やうやく軌道に乗り、演奏会も今回をもって第3回を迎える事が出来ました。私達六大学男声合唱団はお互いに伝統も異なれば、気風も異なっておりますが、合唱という一つの芸術を通じて、お互いの心を結びつつ、学生ならではの生れ得ない堅い友情を信じて常に交流を続けて居ります。

今宵、このマニエールホールにおきまして、多数の御来場をいただき、第3回関西六大学合唱演奏会を開催することが出来ましたことは、私達連盟一同大きな喜びと誇りを感じ、誠にありがとうございます。また、同様に音楽を愛する六つの男声合唱団が寄り集ってお互いの技術の向上と親睦を計るために結成されたのが私達関西六大学合唱連盟でした。

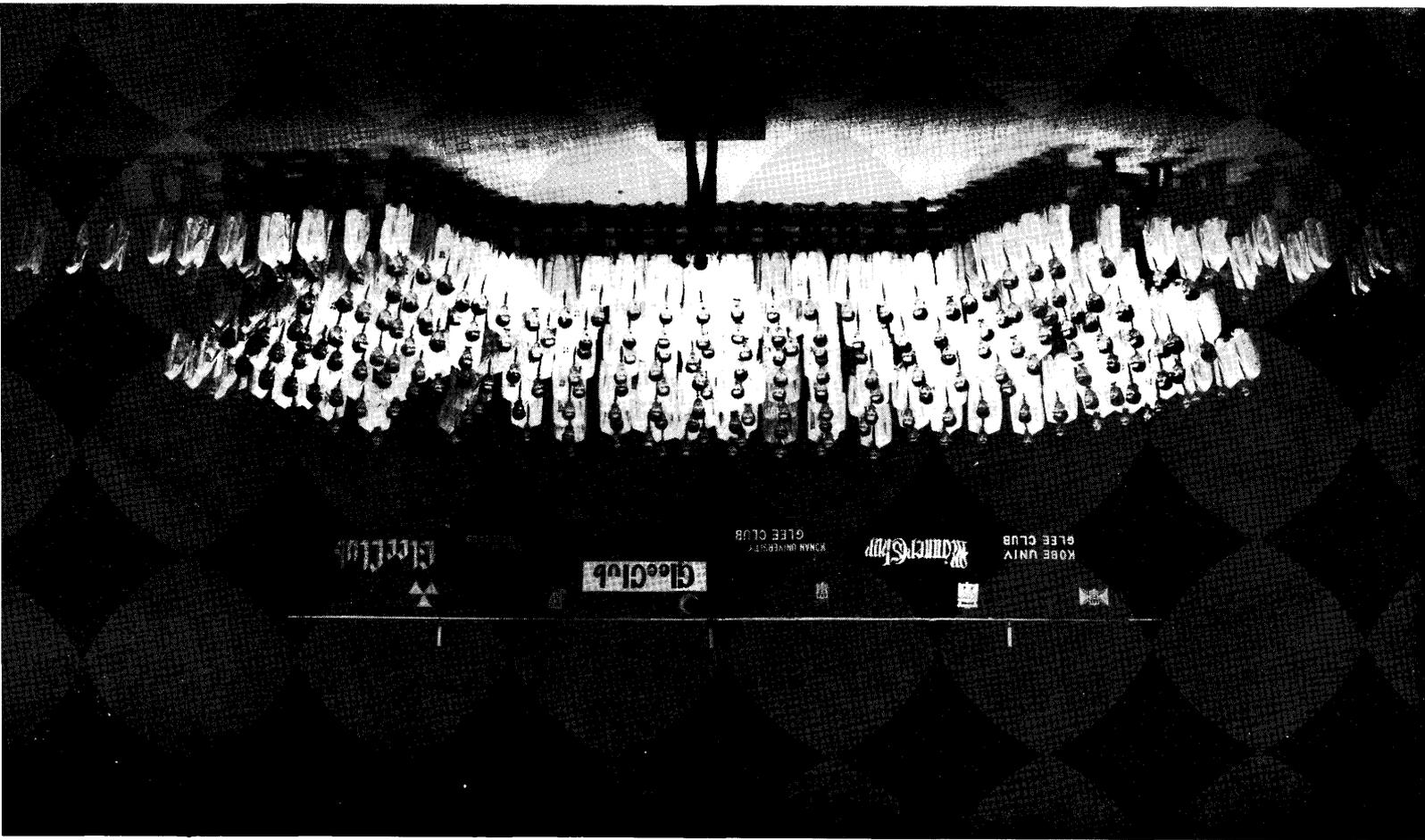
過去数年というものは、私達はただ、連盟の形成と内部充実に全力を注いでまいりましたが、それも分やうやく軌道に乗り、演奏会も今回をもって第3回を迎える事が出来ました。私達六大学男声合唱団はお互いに伝統も異なれば、気風も異なっておりますが、合唱という一つの芸術を通じて、お互いの心を結びつつ、学生ならではの生れ得ない堅い友情を信じて常に交流を続けて居ります。

今後共、これから増々発展しようとする六大学合唱連盟に、皆様方の暖かい御支援と御指導を宜しくお願い申し上げます。

米等ながら、この演奏会の開催にあたり、御援助下さいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

今宵、このマニエールホールにおきまして、多数の御来場をいただき、第3回関西六大学合唱演奏会を開催することが出来ましたことは、私達連盟一同大きな喜びと誇りを感じ、誠にありがとうございます。また、同様に音楽を愛する六つの男声合唱団が寄り集ってお互いの技術の向上と親睦を計るために結成されたのが私達関西六大学合唱連盟でした。

過去数年というものは、私達はただ、連盟の形成と内部充実に全力を注いでまいりましたが、それも分やうやく軌道に乗り、演奏会も今回をもって第3回を迎える事が出来ました。私達六大学男声合唱団はお互いに伝統も異なれば、気風も異なっておりますが、合唱という一つの芸術を通じて、お互いの心を結びつつ、学生ならではの生れ得ない堅い友情を信じて常に交流を続けて居ります。



メッセージ

関西六連への期待

関西合唱連盟理事長 長井 斉

大学問題が、かく紛糾を重ねている深刻な現時局下にあつて、一時その実現を危ぶまれた関西六大学合唱連盟の行事が、各大学の相互援助的な協力と六連演奏会への強固な意欲に支えられて、その第3回演奏会が、このように堂々と開催の運びになったことは、われわれ合唱の愛好者にとっては、事実ホッとしたような喜びをさえ感じるのです。

大学の合唱運動が、今日隆盛を誇っている全日本合唱界の先駆であることは、今更くり返すまでもないことですが、それが従来から東西陣営の相応呼することによって、現在全国的な繁栄を招来しているものだと考えられるのです。そのような意味をこめて、この大ホールに展開される力強い男声合唱の響きが、よく、東京六連或は全国各大学合唱団の練習場に豊かな親善のこだまを贈るにふさわしい好演の数々が、今、ここに聴かれることを切に期待して、激励と祝辞を送るものです。

東京六大学合唱連盟

水の都大阪の地に於て、恒例の第3回関西六大学合唱演奏会が催されます由、心からお慶び申し上げます。

輝かしい伝統を持ち、高度の水準を維持している関西六大学の演奏会であれば、音楽を愛する方々の期待も、さぞや大きいことでしょう。

大学の合唱団は、毎年多くの人が入れかわってゆくため、合唱音楽の伝統や、技術の水準を保ってゆくことは、非常に困難なことです。今宵は、その水準の維持のため、さらには新しい境地の開発のために積み重ねられた日頃の努力を、ここに遺憾なく発揮されることを切望してやみません。

日頃から、各交歓会などで、おつきあい願っている私達にとっても、この演奏会は、お互いが前進してゆく上に非常に大きな意義を見いだすのです。

今後も、一段と東西の交流を深め、良きライバルとして、日本合唱界の推進力となってゆきたいものです。

今宵開かれませ演奏会が、大成功を収められんことを心からお祈り致します。

プログラム

I 神戸大学クワイア
指揮 竹本鉄三
男性合唱のためのパレード
作詩 岩田 宏
作曲 中村茂隆

II 関西学院クワイア
指揮 泉 竹彦
作詩 中 勤助
作曲 多田武彦

「中 勤助の詩から」

絵日傘
椿
四十雀

ほほじろの声

かもめ

ふり売り

道羽根

III 同志社クワイア
指揮 西野正教
作曲 シーバルト

「シューバルト歌曲集」

菩提樹(Der Lindenbaum)

子守歌(Wiegenlied)

死と少女(Der Tod nund das Mädchen)

マス(Die Forelle)

マリエ・マリア(Ave Maria)

IV 甲南大学クワイア
指揮 原 真一
作詩 北原白秋
作曲 多田武彦

「柳河風俗詩」

柳河

組屋のおろく

梅雨の晴れ間

V 立命館大学メソナル・コール指揮 財家晴夫
作詩 京野心平
作曲 多田武彦

本年度委嘱作品

男性合唱組曲「蛙」

桂離宮竹林の夜

黒い蛙

青大荷

蛇祭り行進

VI 関西大学クワイア
指揮 大田恵孝

「ドイツ男声合唱曲集」

Wasserfahrt (船路)

Bücher am Rhein (ライプニッツライオン)

Chor der barmherzigen Brüder aus, With. Tell
(ウイリアムテルより慈悲深い兄弟の歌)

In den Alpn (アルプスにて)

VII 合同演奏

「ニコロ・スビリチユアル」指揮 岡屋 晋

曲目解説

神戸大学グリークラブ

男性合唱のためのバラード

「未婚」

しごと しごと
重い仕事や 軽い仕事
いろんな色の仕事が終わると
ぼくは君に電話をかける
しごと しごと
辛い仕事や 赤い仕事
いろんな匂いの仕事が終わると
きみはぼくの電話を待つ
しごと しごと 仕事はすんだ！
2人の店で待ち合わせしてから
2人のお酒をぼくらは飲む
きみはちよっぴり ぼくはたくさん
いつものお酒を飲みながら
ひるまの話だ 仕事の話だ
ひとの噂だ あしたの予定だ
そして突然
くらやみで くちづけ
今度いつ逢う 今度いつ逢う
げっ かお すい
もく きん どお
月火水木金土！

日曜のきみの部屋へ
日曜のぼくが掛ける
日曜の陽に照らされて
ぼくらは2人のみかんをむく
火星に土地を買っちゃわか
そこで競馬をひらこうか
火星に馬がいるだろうか
きみはぼくの邪魔にならない
ぼくの仕事の邪魔にならない
ぼくはきみの邪魔にならない
きみの仕事の邪魔にならない
だからぼくらは逢うとたのしい
ぼくのコースはきまっている
きみのヘースはみだれない
暗闇の音だけ聞こえる時計のように
そして突然
まじめな目をしてきみが訊いた
「それでこれから どうなるの
どうするの
それで
これから」
無理なむすめ むだな麦
四角いしきたり 海のウニ
海はふかくて くらいから
ぼくらの行方もしごとの行方も
濃いみどりいろで分らない
月火水木金土
火星に馬がいるだろうか

この色 この重さ この匂い
みえない未来をありありと見て
ぼくら2人は突然おどろく
無理なむすめ むだな麦
四角いしきたり 海のウニ
海はふかくて くらいから
ぼくらの行方もしごとの行方も
濃いみどりいろで分らない
月火水木金土
火星に馬がいるだろうか
この色 この重さ この匂い
みえない未来を ありありと見て
ぼくら2人は突然おどろく

関西学院グリークラブ

組曲・中勘助の詩から

私が関西学院グリークラブのために書いた最初の作品が、この組曲「中勘助の詩から」である。昭和34年1月、根津弘君の指揮で初演され、その年におこなわれた関学グリー創立60周年記念演奏会や東西四大学交歓演奏会では土木義和君の指揮で演奏された。今回、10年ぶりで初演団体によって演奏されることになったことは大変うれしい。

初演のプログラムに書いた私のメッセージのなかに、私は「関学グリーの今後のいちだんの発展を願うべく、従来の関学グリーの演奏に新風を与えるために書いた」と述べているが、今ふり返って考えると、まさに「盲人、蛇に怖じで」で、自分の力量も顧みず、よくまあ大それた言葉を吐いたものだと思わしくなる。

元来、音楽は作品と指揮者の解釈と演奏者の技倆とが一体とならなければ名演奏は生まれないとされているが、私のこの未熟な平易な作品が、今日まで多くの団体に愛唱されて来たについては、当初の関学グリーや、当時の北村協一指揮東京コラリアーズの力に負うところが多く感謝している。

この組曲は中勘助の詩集より7篇を選び作曲した。各曲の標題にもみられるとおり、日常生活の寸景を描いた題材に過ぎないが、中先生の珠玉のような詩情のおかげで、組曲全体を淡い抒情で包むことができた。

一つ一つの曲の内容は次のとおり。

《絵日傘》絵日傘を持って遊ぶ子供たちの情景を、早いテンポで歌う。途中の独唱は、襖ごしに呼びかける風情である。

《椿》わらべ唄風な旋律を早いテンポで演奏する。近所の久兵衛さんの家の立派な椿を、なかば講讃的にほめあげる。

《四十雀》ひよっとしたら、詩人は「白い頬の一人の若い女が嫁いで来て、そこで一人の男とずーっと仲よく暮らして行く」ことを、四十雀に託してほのぼのと歌いあげたのかもしれない。

《ほほじろの声》ほほじろの声を聞いて、昔を思い、今も昔も変わらぬ孤独感をしみじみと歌い上げる。

《かもめ》ゆりかもめのありさまを、わらべ唄風に可愛らしく歌う。

《ふり売り》人や動物が近づいてまた遠ざかって行く有様は、古今の作曲家たちが好んで用いる手法の一つである。私も、この第六曲目で、魚売りの呼び声を用いて、この手法を使ってみた。

《追羽根》中勘助の兄は長年病苦に悩まされ、兄嫁もその看病疲れのため床に俯しがちであった。その兄嫁に対するいたわりの気持をこめて書かれたこの詩は、追羽根の持つすがすがしい季節感とともに、中勘助の詩風を代表するほどのものであった。

同志社グリークラブ

シューベルト歌曲集

菩提樹 (Der Lindenbaum)

シューベルト歌曲集「冬の旅」の第5曲。「冬の旅」の主人公は、あらゆる希望をなくした孤独な放浪者であるが、「菩提樹」はその放浪者のうたう望郷の歌である。ミュラーの詩による1827年の作。

子守歌 (Wiegenlied)

1816年の作。クラウディウス詩による。シューベルトの歌曲の中で、もっとも広く親しまれているものにぞくする。母の愛情をそこに感じられよう。

死と少女 (Der Tod und das Mädchen)

1817年の作品で、クラウディウス詩によるもの。乙女と死神の対話で、乙女は死神を拒否するが、死神は甘言で接近してくるという歌詞をもち、不気味な劇的な効果をもつ。のちの有名な弦楽四重奏曲ニ短調の第二楽章の変奏曲の主題に、このピアノの前奏が使われた。

1817年にシューベルトの詩につけた歌
ます (Die Forelle)
2年後につくられたピアノ五重奏曲
4長調の第四楽章の愛慕曲の主題にこの
曲が採用されている。小川を軽やかに泳
ぐますを、釣針が水をごらせて釣上げ
るといふ歌詞をもち、軽快な旋律で進む。

柳河風俗詩

甲南大学クワイアクラウ

私の郷里柳河は水郷である。そうして
静かな庭屋の一つである。自然の風物は
如何にも周囲府であるが、既に柳河の街
を貫通する数知れぬ溝渠のほかに、日
に日に廃れゆく古い封建時代の白壁が今
なお懐かしい影を映す。——略——
静かな庭屋の多く、またまた足居の水
路となり、蛇を奔らせ、変化多き少年の
秘密を育む。水郷柳河はさながら水に浮
いた灰色の板である。——

シューベルト (Franz Peter Schubert
1797~1828) はリート作曲家の第一人者
である。なによりもモロツキの美しさ
によって、多くの人に親しまれている。
「野ばら」だとか「菩提樹」だとかいっ
た歌は、今更改めてドイツ・リートな
どと叫ぶまでもなく、もう私たちの歌に
なりきっている。その中でも今日よく歌
われる曲を集めて演奏します。
その他シューベルトには、歌曲ピアノ、
交響曲、室内楽、宗教曲等すぐれた作品
があります。

秋の「思ひ出」より四つの詩をとりあげ
男声四部合唱に作曲したものである。こ
の中の第一曲「柳河」は氏の最初に世に
出た作品であるが、それはまだ氏が京大
の学生時代に書かれた。彼の、「詩」を選
ぶ能力は、彼の作品を支える二つの美点
であるといえよう。
曲は、チナー・ソロを折りませ流れる
ように歌われる「柳河」。吐き出すような
せりふと美しくモロツキなワルーズ
が交互に現われる第二曲「紺屋のおく」
ゆったりと、しかしわびしさをたたえて
歌われる第三曲「かきつばた」。
そして、早いテンポで楽しげに歌われる
終曲「梅雨の暗れ間」の四曲からなっ
ている。
柳河
もうし、もうし、柳河じや、
柳河じや。
銅の鳥居を見やしやんせ。
欄干橋を見やしやんせ。
（馱者は喇叭の音をやめて
赤い夕日に手をかざす。）
蘭の生えた
その家は、……………
その家は
旧むかしの遊女屋
人も住まぬ遊女屋。
裏のBANKOにゐる人は、……
あれは隣のお嬢。
お嬢。
水に映ったそのかけは、
そのかけは
母の形見の小手鞠を、
小手鞠を、
赤い毛糸でくくるのぢや、
彼岸手にくくるのぢや。
もうし、もうし、旅のひと、
旅のひと。
あれ、あの三味をきかしやんせ、
鳩の浮くのを見やしやんせ。
（馱者は喇叭の音をたてて、
あかい夕日の街に入る。）
夕焼小焼
明日天気になあれ。
………BANKO 緑行。

私が、草野心平先生の詩に作曲したも
のとしては、今まで、組曲「富上山」(昭
和31年)、組曲「草野心平の詩から」(昭
和36年)組曲「北斗の海」(昭和43年)が
ある。「蛙」の詩についても、昭和27年頃
から「いつかは作曲してみたい」と考え
ていたが、なかなかまとめる機会に恵ま
れなかった。
昨年、私は、立命館大学メソル・コー
ルの四年生のかたがたから、「卒業記念に
後輩に新作を贈りたいので」という趣旨
の依頼を受けた。近年、ユニークな、力
強い演奏で定評のある立命館大学メソル
ル・コールの交響に感ぜようと、あれこれ
題材を探しているうちに、ふと思いつい
たのが「蛙」であった。
立命館大学メソル・コールによる初演
ならぼ……と私は、ためらうことなく、
冒頭に「桂離宮竹林の夜」を持って来た。
三番目には五匹の子供の蛙を描いた童
詩を持って来て、この詩の中の「青大将」
を退治した数々の蛙達の姿を描く、とい
う関連を持たせようと、終曲には「蛇祭
り行進」を置いた。
草野心平先生の「蛙」からは、私は絶えず

多田武彦

組曲・蛙

本年度委嘱作品

立命館大学メソル・コール

紺屋のおく
に、い、あ、畜生は紺屋のおく。
猫を擁えて夕日の涙を
知らぬ顔してしやなしやなど。
に、い、あ、畜生は筑前しほり。
華奢な指さき濃青に染めて、
金の指輪もちらちらと。
に、い、あ、畜生が薄情な眼つき。
黒の前掛毛織子か、セルカ、
博多帯しめ、からころと。
に、い、あ、畜生と、擁へた猫と、
赤い夕日にふとつまされて、
濁りに陥って死ねばよい。ホソニ、
ホソニ……………

「抽象画風な、こってりとした量感」と「山水画風な、純東洋的な幻想の世界」とを併せ感じる。この印象をこの組曲に盛り込むために、私は随所に「半音階的進行」や「増三和音、減七和音、を用い、それを所謂「多田節」ですっぽり包んでみたが、結局私の心の中に奏でられた蛙はやはり「日本的な蛙」であった。

演奏会のご成功と立命館大学メンネルコールのご発展、それに、この作品を後輩達に贈られた本年度卒業の方々のご活躍を祈る。

関西大学グリークラブ

ドイツ男性合唱曲集

男声合唱をはじめ作曲したのはミハエル・ハイドン（1737～1806）であろうといわれている。当時の男声合唱曲は男声4部のための世俗的な無伴奏の作品で、多くは有節形式で作曲されている。

また男性合唱団の発達に組織的な方向を与えたのはK・F・ツェルターが1809年にベルリンで結成したツェルター・リーダー・ターフェルであった。そしてその後諸都市でも次々と男声合唱団の結成をみるにいたった。

スイスに男声合唱の運動を起こしたのはハンス・ゲオルク・ネーゲリであり、彼が出版した「スイス男声合唱曲集」は南ドイツでも合唱運動を啓発することになった。そして北ドイツでは男声合唱団をリーダー・ターフェルとよんでいたのに対して南ドイツではリーダー・クランツという。

ツェルター以後、19世紀の前半に男声合唱曲の分野に活躍した作曲家の中では、B・クライン、ウェーバー、K・G・ライシガー、K・F・ツェルター、H・マルシュナー、F・メンデルスゾーン、F・シューベルト、K・クローツァーなどが著名である。

中でもシューベルトはリートに芸術的な可能性を十分きりひらき、リートのあらゆる種類を開拓して、これらを完全に同化していた。

ロマン派のリートは下記の4特徴をそなえている。これらは一見相対立してい

るかのようであるが、ロマン主義に即してみれば、互いに一体となって一個の芸術的生命を形成するものである。

1. 日常の現実生活を逃避して、悲現実的・空想的・神秘的な世界を求めている。
2. 伝説や歴史や民謡に立脚して、過去を芸術的に追体験しようとしている。
3. 詩と音楽の両面から素朴な民族的要素を模倣している。
4. 新鮮な自然感情をくりひろげる。

作曲家たちは、詩の表現や情緒を音楽によって説明したり、補足することをめざし、このようにして結合された言葉と音楽の合体から、有機的な統一を得ることができるのである。

今日はこのような背景のなかで活躍した音楽家の数多い曲の中から数曲を選んでみました。

I. Wasserfahrt (船路)

作詩 Heinrich Heine

作曲 Felix Mendelssohn-
Bartholdy

II. Blücher am Rhein

(ラインに立つブリュッヘル)

作詩 August Kopisch

作曲 Karl Gottlieb Reissiger

III. Chor der barmherzigen Brüder aus, Wilh. Tell

(ウィリアムテルより慈悲深い兄弟の歌)

作詩 Friedrich Schiller

作曲 Bernhard Anselm Weber

IV. In den Alpen (アルプスにて)

作詩 J.V. v. Scheffel

作曲 Friedr Hegar.

合同演奏

ニグロ・スピリチュアル

〔黒人霊歌〕

18世紀から19世紀にかけてのアメリカ南部の開拓時代に、遠くアフリカから黒人が奴隷という悲惨な身分で移入されました。それからの黒人達の生活は言葉に絶するほどの酷使と虐待の苦しい奴隷生活でありました。がしかし彼らは世界でもっともうたうことが好きだといわれているロシア人に負けずおとらず、あらゆる機会に歌をうたう人種で、本能的にリズム感覚にすぐれております。

そして黒人達は、その苦しい労働生活の中から唯一の救いを求めたのです。

それがキリスト教だったのです。

つまりキリスト教が約束している天国が、死後の世界にしか安楽を求められなかった黒人達にとって、大きな魅力を持っていたからです。そこに讃美歌の一種として黒人霊歌（ニグロ・スピリチュアル）が生まれました。

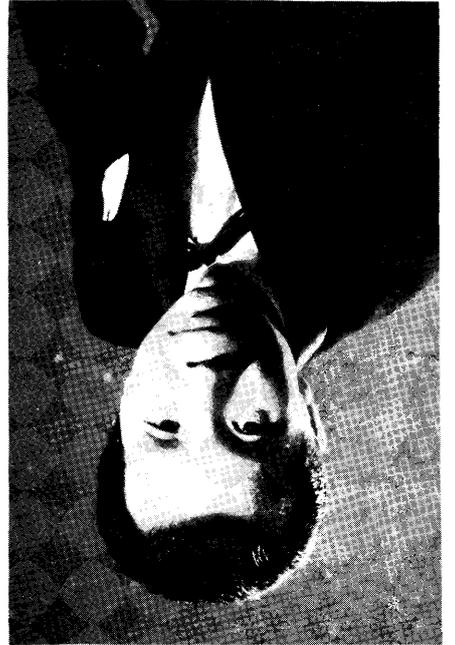
黒人霊歌は彼等の魂の叫びであり、現実の悩みを忘れて宗教的法税にひたろうとする信仰精神から出来ているところから、いつまでも多くの人々に親しまれ感動を呼び起こすのです。そして今日親しまれているジャズという音楽の基礎は、とりもなおさず黒人達の霊歌（スピリチュアル）なのです。

今宵は彼等の霊歌のうち以下の4曲を選んでみました。それでは彼等の魂の叫びをお聞き下さい。

1. Deep river
2. Wade in de water
3. He never said a Mumbalin word
4. Listen to the lambis

合同演奏に際して

閑屋 景



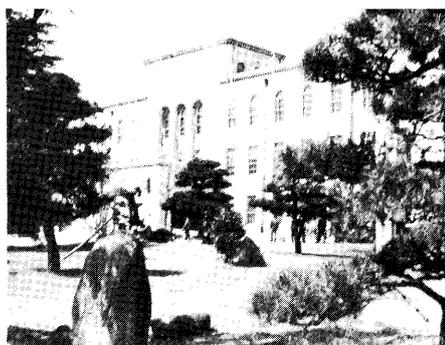
福永先生が急病のため、その代りにどうかという話があった時、私の心は騒いだ。十年前大阪で暮したことがあり、他に楽しみのない私は、いろいろな合唱団の演奏会に通った経験があるから、いわば第二の故郷に歸を飾るような気持であった。

だが、その曲目がすでに決められていて、ニクスレリチュアルと聞いた時、私は迷った。私には、一流会社の社長さんの後で、用を足すことを断られたこともなければ、水が濁るからと、一緒に泳ぐことを拒否された経験もない。ましてや、学生帽に貫縁をつけるためにはやったが、自分のちられた髪の毛をまっすぐにするために、一瓶のボマーを費やしたこともなければ、自分の皮膚を削るような努力をしたこともない。過去何回かニクスを演奏しながら、私の心は常に『ノー』と叫び続けて来たからである。

私は迷いながら、昔、大阪で何度かニクスを聴いた時、いつも私に東京へ帰りたい、合唱をやりたいと思わせてくれた学生諸君が、自分達のことを真剣になって考えなければならなくなっている今、どんな音楽を私と一緒に創ってくれるかを考え、重大なお役目を引くことにした。

閑屋 景 (せきや・しん)
昭和3年 東京生れ
昭和26年 早稲田大学経済学部卒業
磯部 俊、福永陽一郎両氏の指導を受ける。
学生時代より、フタエフ合唱団の指導、育成に努め現在、早稲田大学高等学院フタエフ・クラフ・早稲田大学・フェリス学院・フェリス学院の常任指揮者をはじめ、10余の合唱団の指揮者として活躍している。
(日本合唱指揮者協会理事)

神戸大学グリークラブ



人間にとって『歌うこと』はどんな意味をもつのか。これまで、ほんとうに口だけで歌っていたぼくら。社会のどす黒い圧力はそんなぼくらから「人間であること」を奪いさりつつ、どんどんぼくらを闇の彼方へ押し流そうとします。

ヘルメット、ゲバ棒、封鎖、そして機動隊。それらは「どす黒い圧力の正体は何か、そしてぼくら自身は……」を考えさせずにはおかなかったのです。

ぼくらは「人間であること」の意味を考えはじめます。自分の足でどす黒い流れの中で踏みこたえようとするのか、しないのか。—「主体性」「疎外」がぼくらのことばになろうとしています。

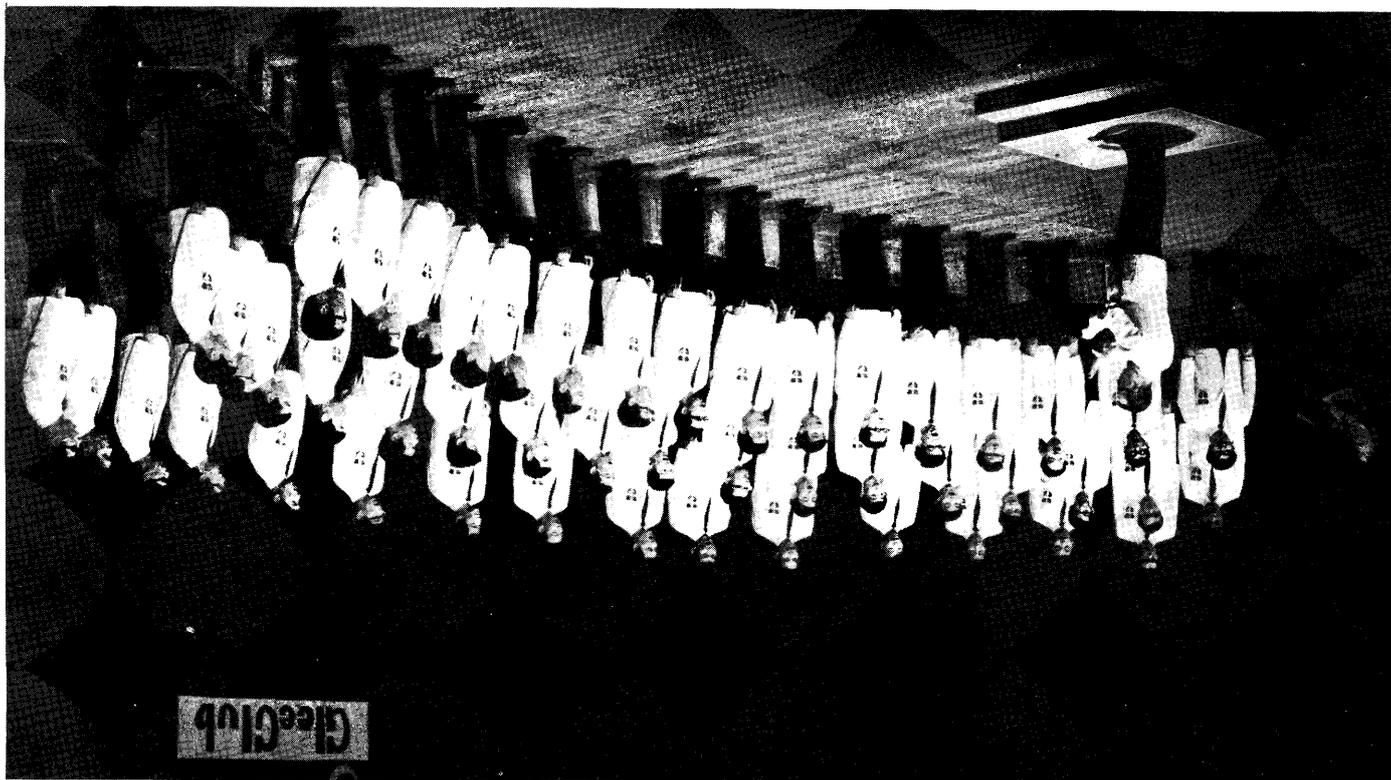
そしてまたぼくらは『歌うこと』の意味を伺いはじめたのです。『歌』が生活になろうとし、生活は『歌』に血を流わせようとしています。今のぼくらのこの苦しみの中で……。

人間にとって『歌うこと』はどんな意味をもつんだ!?

神大学歌 この丘に

この丘に我々
一つの灯守る
真理と自治のかがり火
絶やすなく今ここに
若き日の命をかけて
ひたぶるに
丘に燃やさん

関西学院グリークラブ



緑なす六甲の山並を背に、波静かな瀬戸内海を眼下に見下す高台、美しく静かな環境に恵まれた神戸原田の森の関西学院に、我國初の男声合唱団として、関西学院グリークラブが誕生したのは、19世紀もいよいよ最後という1899年のことであった。

キリスト教精神によって建てられたこの学院には、創立当初からすでに音楽が、ありました。

明治29年以來、関西学院では毎年1回、英語会が開催されてきましたが、明治32年、明治29年以來、関西学院では毎年1回、英語会が開催されて...

そのプログラムに合唱を入れようということになり、初めて正式に合唱団が組織され、当合唱団と交歓演奏会を開催してまいりました。

このようにして創立70周年をむかえる関西学院グリークラブは今や日本の関西グリークラブの始まりであり、我國最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの起源であります。

この英語会で、グリークラブとして最初に行われた演奏は、現在なお歌い続けられている「College Song "Old Kansai"」でありました。

1969年間関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と、内外の温かい御指導、そして、何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐくみ育てられてまいりました。

中でも山田耕彦、津田庄一、由木 康、林 雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする先輩であります。

在日本合唱コンクールにおいても我がグリークラブはその重きをなし、戦後通算12回の優勝や3年連続日本一という輝かしい記録をなすは、二度、名誉ある招待演奏も行なわれてまいりました。

又38年3月には我國合唱界初の海外演奏旅行として、約二週間、台湾を訪問して参りました。そして40年秋にはニューヨークで開催された世界大合唱フェスティバルに日本代表として名誉ある招待を受け、ニューヨークの舞台で大成功をおさめました。

また歌と心を通じて世界中の学生と兄弟の契りを結び、昨年は韓国の延世大で混声合唱

A SONG FOR KWANSEI

団、ドイツのミュンスタ大学ユトリカル合唱団と交歓演奏会を開催してまいりました。

このようにして創立70周年をむかえる関西学院グリークラブは今や日本の関西グリークラブの始まりであり、我國最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの起源であります。

この英語会で、グリークラブとして最初に行われた演奏は、現在なお歌い続けられている「College Song "Old Kansai"」でありました。

1969年間関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と、内外の温かい御指導、そして、何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐくみ育てられてまいりました。

中でも山田耕彦、津田庄一、由木 康、林 雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする先輩であります。

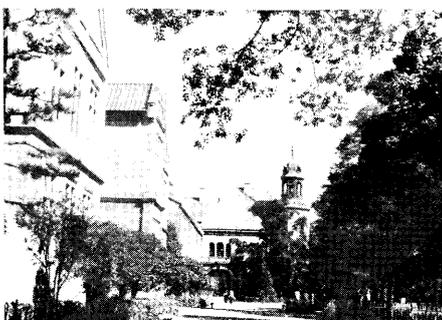
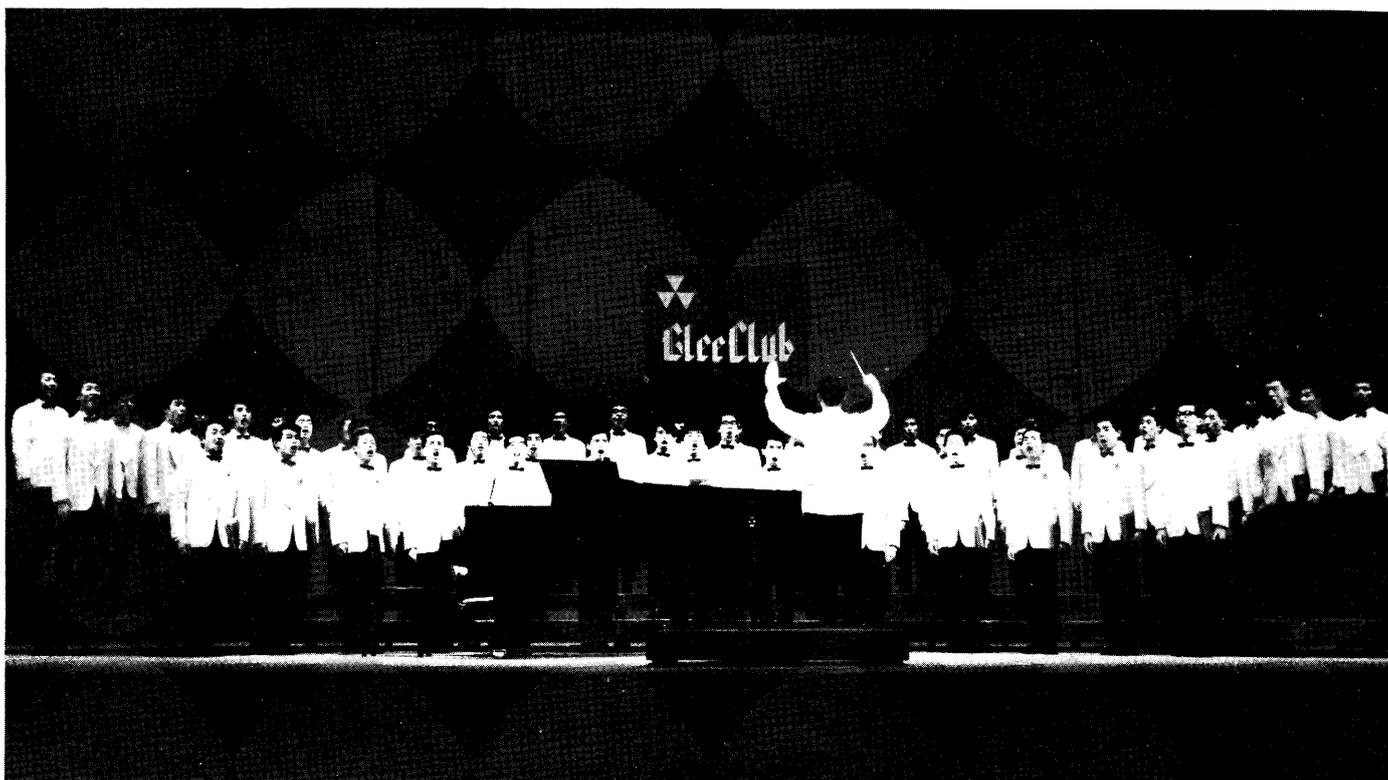
在日本合唱コンクールにおいても我がグリークラブはその重きをなし、戦後通算12回の優勝や3年連続日本一という輝かしい記録をなすは、二度、名誉ある招待演奏も行なわれてまいりました。

又38年3月には我國合唱界初の海外演奏旅行として、約二週間、台湾を訪問して参りました。そして40年秋にはニューヨークで開催された世界大合唱フェスティバルに日本代表として名誉ある招待を受け、ニューヨークの舞台で大成功をおさめました。

また歌と心を通じて世界中の学生と兄弟の契りを結び、昨年は韓国の延世大で混声合唱

That we may both receive and give,
May live to learn, and learn to live,
Kwansel, we throng,
To you we throng, not first nor last,
Rejoicing in your fruitful pas,
Through seasons clear or overcast,
Still true and strong,
For us the present time is grace,
With thankful hearts we take our place,
Kwansel, our own;
And, each and all, count these hours
Beneath your trees, beneath your towers,
One long succession of kind hours,
The sweetest known.

同志社大学グリークラブ



我クラブは今年で創立64年、現在部員 100 余名という大世帯で、その目的たる「同志社精神を載し、メンバー相互のメンタルハーモニー・カレッジライフの向上」に不断の精進を続けております。明治34・35年頃は単に賛美歌を練習するための小グループだったのですが、明治44年現名誉顧問片桐哲先生がこれをグリークラブと名付け、始めて組織化されました。しかし聖歌隊的なものに飽きたらない学生が大正二年フリムローズなる合唱団を組織、一般の合唱音楽の研究につとめるようになりました。以後両合唱団は或は共に或いは別に活躍し、その足跡は遠く、満洲、朝鮮、中国、台湾に及んでいます。昭和16年両合唱団は合併し、同志社大学男声合唱団となり、戦後いちやく復活し、同志社グリークラブとして今日に至っております。その間、毎年定期演奏会、東西四大学合唱祭、関西学院グリークラブとの交歓演奏会、関西六大学合唱演奏会、立教大学グリークラブとの交歓演奏会、テレビ・ラジオ放送、毎春夏の演奏旅行などに努力を続けております。かくの如く半世紀を超える輝かしい歴史の間、1000名近い先輩を送り、今なお音楽界で活躍中の内田栄一、大中寅二、湯浅永年、山口隆後、宅孝二、水谷典、今西善治郎の諸氏もその一人であります。現在、福永陽一郎先生を技術顧問、大久保昭男先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高度な音楽の創造を目的におねお一層前進せんと努力いたしております。

DOSHISHA COLLEGE SONG

Words by W. M. Vories

Music by C. Wilhelm

One Purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and native land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' thro' the world we wander far and wide,
Still in our heart thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our earth
Still higher than self-love we find
The love and service of man Kind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine.
That we may with increasing years have stood
For God, For Doshisha and Brotherhood

演奏会予告

- 6月14日(土) 第8回明立交歓演奏会 (京都会館)
- 6月15日(日) 第3回神戸三大学交歓演奏会 (神戸国際会館)
- 6月24日(火) アーモスト大学演奏会 (大阪サンケイホール)(主催) 同志社グリークラブ
- 6月27日(金) 第8回法関交歓演奏会 (厚生年金会館)
- 6月30日(月) 旧三商大合唱演奏会 (神戸国際会館)
- 9月23日(火) 関西学院グリークラブ70周年記念演奏会 (大阪フェスティバルホール)

関西六大学合唱連盟常任委員

- 神戸大学グリークラブ 大西 毅 武田啓一
- 関西学院グリークラブ 中桐 注 野村修三
- 同志社大学グリークラブ 小倉良介 浜田陽三
- 甲南大学グリークラブ 森山 潤 武田一夫
- 立命館大学メンネルコール 日下道雄 北 和男
- 関西大学グリークラブ 前部俊二 塚脇直樹

広東料理

牡丹園

元町店

神戸元町一丁目鯉川筋
電話 (39) 5 1 4 1 ~ 3

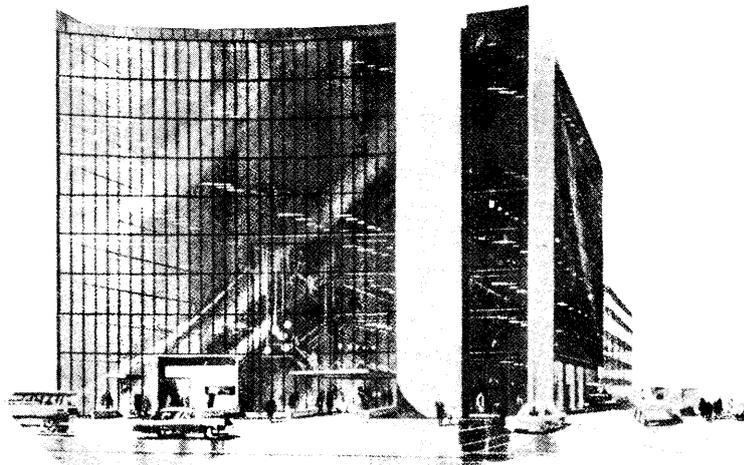
花隈店

国鉄元町駅西口
西半丁北側
電話 (34) 2763・3708

ご宴会

ご婚礼

ご披露宴に



5月7日～8月末日迄

屋上ピヤガーデンを開催致します

阪急烏丸駅より直結して居ります



株式会社

ツーリスト タリル

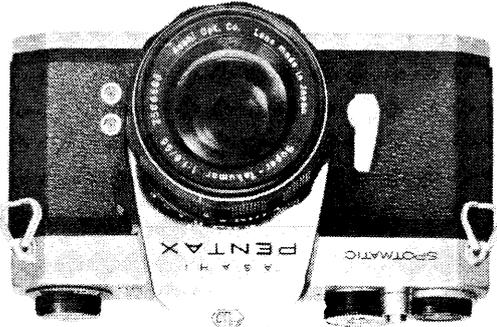
京都市下京区四条室町角

京都産業会館五階

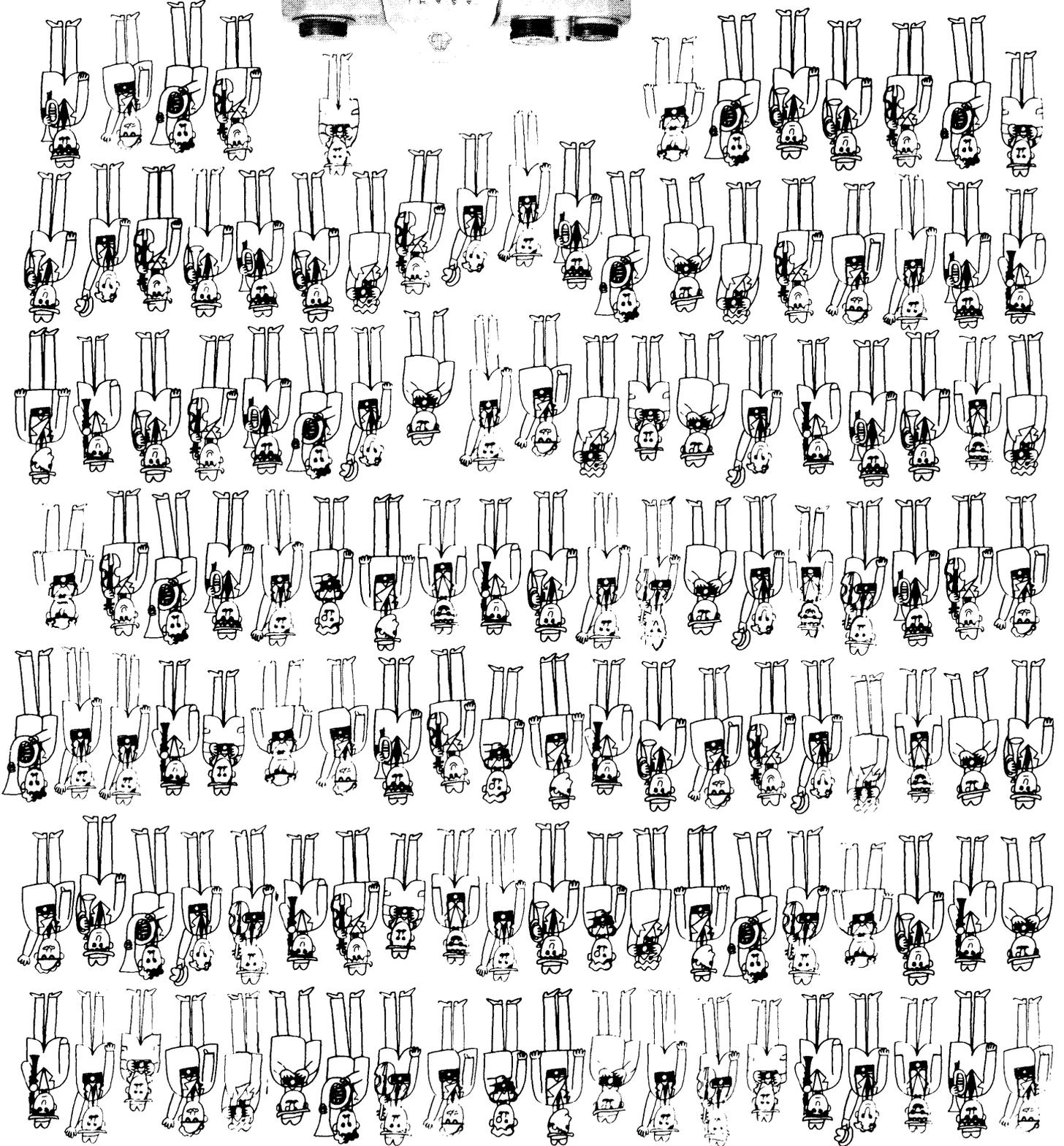
TEL 京都(075)代表221-3191

ASAHI/PENTAX

TTL方式のバリエーション
SP
 50mm F1.4付 ¥52,400
 55mm F1.8付 ¥44,500
 SL F1.8付 ¥37,500
 S2 F2付 ¥32,300
 (巻ケース付)



129人中なんと75人がASAHI PENTAXを買っていました。ASAHI PENTAXは、いまやドイツはもちろん世界各国で「世界の一流品」としての定評を得ています。



帰途 羽田空港にせいられた
 カラヤン一行 (カラヤン一行)